

南丹市・日吉町の地域発展と

新たな農産物加工品開発をめざして

農事組合法人 グリーン日吉

理事 松尾武治さん



松尾武治さん

黒大豆に代わる新たな加工品を

平成18(2008)年、園部町、八木町、日吉町、美山町の4町が合併して誕生した広大な南丹市。そのほぼ中央に位置するのが日吉町です。

農事組合法人グリーン日吉は、平成元(1989)年に活動を開始、平成12(2000)年の農協合併によって農事組合法人として独立しました。従来から黒豆ぐらっせ、黒豆茶など黒大豆製品を中心にした日吉町の特産品の製造加工、販売に取り組み、数々のヒット商品を生み出してきました。しかし加工事業の中心であった黒大豆は原料高騰などの事情から将来にわたって安定的な採算性が危ぶまれ、かねてから新しい農産物加工品の開発が属望されていました。

今回、グリーン日吉がファンドの支援を受けて実施したのは、こうした農産物を利用した新たな加工品である「自然食ゼリー」の開発と販売に関わる事業、そして日吉町を含む南丹市全体の広告宣伝・ホームページ事業の2点です。



農事組合法人グリーン日吉

自然食ゼリー「ベビーハッピー」

「市場に出回っている乳児食・離乳食には完全無添加の商品が少ないこと、これまでゼリーやジュレなどのスイーツをつくってきたノウハウを活かせるものとして、今回、乳児向けの自然食ゼリーの開発に取り組みました」と語るのは同法人事業部長の松尾さんです。

自然食ゼリー「ベビーハッピー」はトマト、かぼちゃ、万願寺とうがらし、にんじん、おかゆの5種類。それに寒天、リンゴを加えてつくった安全で身体にやさしいゼリーです。寒天の代わりに凝固剤を入れるほうがコスト安ですが、あくまで天然素材にこだわりました。

当初、乳児食として開発したのですが、嚥下困難な高齢者向けの介護食としても需要があることがわかってきました。顧客の注目度は思いのほか高く、デパート、ダイニングショーなど各種展示会の反応も良好で、生協も大きな関心

農林水産物の活用

を示していました。

ところが流通販売の段階でネックになったのが1個200円という販売単価です。嗜好品であるスイーツなら小売り価格200円は決して高くはありません。無添加自然食という優位性を強調するなら、むしろ価格を高く設定したほうがよく売れる場合さえあります。しかし乳児食にしても介護食にしても、常用食品の場合、販売価格200円は類似商品との競争力がなく、流通させにくい、という評価なのでした。

「スイーツとの違い。これは盲点でした。商品自体に十分魅力があることは認知されているので、販売価格が120円~150円ならいつでもOK、とされているのですが、赤字を出してまでつくることはできません。当面は受注生産、ということで対応しています」。

現在、一食の量目を増やす方向でのコスト削減の検討をすすめています。特におかゆに関しては増量し、レトルト化する方向で介護食として再度商品化の見通し、とのこと。

一方「自然食ゼリー」で完成したノウハウ、レシピを活かした新たな商品開発も行われました。ノートルダム女子大と連携して開発した「柚子プリン」です。これは流通ではなく、グリーン日吉の店頭で食べるか、通販限定商品(冷凍)としていく予定です。



農産物加工品の数々

南丹市全域の広告宣伝を

ファンドで実現したもう一つの事業がホームページの作成です。

京都市内から50km、自動車道を使えば車で1~2時間の山村。「山あり、川ありの大自然豊かな農村リゾート」として南丹市をなんとか売り込みたい、南丹市全域が注目されていくことで、グリーン日吉の売り上げアップにつながれば」と松尾さんは語ります。

美山町には茅葺き民家集落群に年間およそ70万人ほどの観光客が訪れていますが、来て、見て、遊んで、食べて、買う。さまざまな観光資源が南丹市全体でまだまだ少な

いのが現状です。「川沿いの田舎家をいかした農家レストランなんかを展開できればいいのですが」。

現在、京都市内でアンテナショップの構想が進行しています。ゼスト御池で月に何度か定期的に南丹市を売り出すPR作戦です。「もちろん特産品、加工品も販売しますが、物販が主な目的というより、グリーン日吉と同じような事業をしているところと連携していきたいのです。どんなふうにして地域を売り出し、観光活性と販売促進につなげているのか、情報を得たい、協力関係をつくりたいと思っています」。



自然食ゼリー「ベビーハッピー」

地域が一体となって

今後の夢は、「農産物の加工作業と併せて地域に住む障害のある人の就労の場を展開することです」と語る松尾さん。

現在、グリーン日吉の工場には作業所から半日ずつ毎日二人が働きに来ておられるます。「ラベル貼りや単純な作業をやってもらっているのですが、きちんと指導さえすれば彼らは仕事がいねいす。このような障害のある人の就労の場を地域に確保することも含めて、地域全体が一つに盛り上がっていきけるような形態をいろいろと模索し、南丹市と日吉町を活性化させていきたいなと思っています」。

農村ならではの人のぬくもり、あたたかさ。それらが丸ごと素敵な観光資源になる日は近いかもしれません。

事業概要

農事組合法人 グリーン日吉
http://www.kuromamenosato.jp/
代表：田中保雄
業種：農産食品加工販売
創業：平成元(1989)年 設立：平成12(2000)年
住所：〒629-0301
南丹市日吉町保野田島田 22-1
TEL：0771-72-1244 FAX：0771-72-1246